



米国市民として育った日系二世、大戦時の不条理を精緻に描く。

広島や鹿児島、静岡など日本各地出身の両親のもとに生まれ、米国市民として育った4人の二世を主人公に、彼等の群像を精緻に描く。『ヒトラーのオリンピックに挑め』の著者がおくる新たなノンフィクションの名編。戦後80年をへて価値を増す生きた証言録。

遙かなる山に向かって——日系アメリカ人二世たちの第二次世界大戦
ダニエル・ジェイムズ・ブラウン著 森内薰訳 みすず書房
四六判上製 648頁 2025年2月刊 ISBN:9784622096474 5,280円



シリアルから亡命50年の作家が綴る物語への愛、平和への願い

ダマスカスに生まれ、ドイツ亡命後ミヒャエル・エンデと並び称されるベストセラー作家になった「物語の魔術師」シャミ。揺れ動く心情や糺余曲折、変わらぬ信念と創作の舞台裏など、50年の心のうちを初めて率直に明かす。いまだからこそ必読のエッセイ！

ぼくはただ、物語を書きたかった。
ラフィク・シャミ著 松永美穂訳 西村書店
四六判上製 232頁 2022年2月刊 ISBN:9784867060285 1,870円



戦争が始まって、友だちが敵に——平和を願う不朽の名作

おおきな国とちいさな国の国境に、二人の国境警備兵がいた。一株の野ばらのほかにはなにもない場所。国も年齢も立場も違う二人だったが、次第に打ち解け、友情を育んでいった。しかし、そんな二人をよそに二国が戦争を開始。あべ弘士の絵で鮮やかに蘇る名作。

野ばら
小川未明文 あべ弘士絵 金の星社
B4変型判上製 32頁 2024年10月刊 ISBN:9784323034072 1,540円

*価格は10%税込、2025年7月のものです。

出版社クイズ

なんという名前の出版社かわかりますか？

- 1980年代、日本はタレントショップのキャラクターデザインが一大ブーム。そのグラフィックデザイナーが創業者。1987年のこと。
- デザイナーがどんな作品を生んでどんな活躍をしているか「世界を知るために」パッケージでこれでもかと生物から建築までを本の形で展開。面白さが爆発した。いまや編集者がそれぞれの抽斗で企画し、デザインの力で押し上げる。その勢いは加速して、絵本から漫画までを繰り出している。
- 「Sweets & Fresh」は社是。内容がわかりきっていても何度も心に感動を呼び起こす本づくりを目指す。
- 現社長の業界スタートは漫画家のアシスタント。憧れにリアリティはないと一転、半導体業界に従事。「人の役に立てる」を追求するその仕組みを出版に活かし、現在に至っている。

*クイズの答えは次号(27号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

前号のクイズのお答え

思想・文芸・教養を中心に140年 河出書房新社

1886年創業。当初は農学関係書や理工書などを刊行していたが、その後、思想・文芸・教養書中心の出版活動に舵を切った。近年は「大人の塗り絵」シリーズ、『池澤夏樹=個人編集 日本文学全集』、宇佐見りん『探し、燃ゆ』、ゴンブリッヂ『美術の物語』、ハラリ『サピエンス全史』『NEXUS』などさまざまなジャンルでヒット作がある。創刊92周年を迎える文芸誌『文藝』では「文藝賞」を主催、文学シーンに多くの新しい才能を輩出している。2024年に神楽坂に移転。来年には創業140周年を迎える。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

大戦終結から80年。東西冷戦も終結し、世界は平和になると思われたのに、今ふたたび世界戦争の危機が……。

今回のテーマは、
**「戦後80年。あらためて
考えたい“戦争と平和”」。**

どう平和を構築すればいいのか。
模索の書を集めました。



26号(2025年7月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒



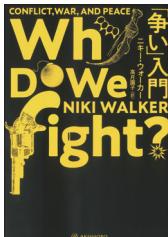


新たな核時代に、日米欧がいま 目指すべき抑止戦略とは？

ウクライナ戦争でロシアは「核の恫喝」を行い、北朝鮮は今も核開発をつづけている。日本でも核共有の議論が高まった。今こそリアルな議論が必要だ。米国は中露や各地域の核問題にどう対峙したのか。核の傘を保証するには何が必要なのか。第一人者が徹底検証。

正しい核戦略とは何か

プラッド・ロバーツ：著 村野 将：監訳・解説 勉草書房
A5判上製 388頁 2022年8月刊 ISBN:9784326303144 4,950円



対立、紛争、戦争の「しくみ」 そして「平和」について。

世界ではいつもどこかで、紛争や戦争が起こっている。だから「争い」は人間にとて避けられないことだと思いがちだ。どうして人と人、国と国同士で「争い」が生まれるのか？ まずは〈構造〉をしっかりと見つめて、「争い」を乗り越える目を養おう。

「争い」入門
ニキー・ウォーカー：著 高月園子：訳 亜紀書房
四六判並製 152頁 2023年1月刊 ISBN:9784750517773 1,760円



世界を一変させた歴史的な戦い そこには語られない余白がある

三十年戦争、アメリカ独立戦争、ナポleonのロシア遠征、第二次大戦でのウクライナを舞台にした戦いから、マンシュタイン、山本五十六などの知られざる秘話まで——戦史・軍事史のさまざまな側面をからめ手から描きだす。軍事史の第一人者による最新の戦史。

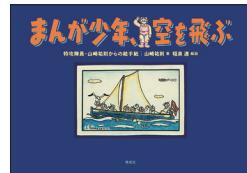
戦史の余白——三十年戦争から第二次大戦まで
大木 毅：著 作品社
四六判並製 240頁 2023年12月刊 ISBN:9784867930106 2,200円



読者に「未来」を考えさせる ジョセフ・ナイが遺した名著

20世紀の二つの世界大戦や冷戦を経た後も、地域紛争やテロは繰り返されている。なぜそうした紛争は起こるのか。東欧や中東の紛争、中国の台頭、北朝鮮の脅威など「国際紛争の火点」について、理論と歴史から解き明かす。世界中の大学で読み継がれてきたロングセラー。

国際紛争——理論と歴史 [原書第10版] ジョセフ・S・ナイ ジュニア、デイヴィッド・A・ウェルチ：著 田中明彦、村田晃嗣：訳 有斐閣
A5判並製 502頁 2017年4月刊 ISBN:9784641149175 3,300円



まんがと飛行機を愛した、若き 特攻隊員の貴重な絵手紙集

まんがと飛行機が大好きだった少年が予科練に志願し、特攻で亡くなるまでの2年半の間に書き残した手紙やスケッチをまとめた本。当時の兵隊たちの日常と青春をいきいきと今に伝えるとともに、失われた、一人の若者のかけがえのない人生を浮かび上がらせます。

まんが少年、空を飛ぶ
山崎祐則：著 解説:稻泉 連 偕成社
20×28cm上製 223頁 2018年8月刊 ISBN:9784030166608 4,620円



原爆という人類の課題に対して 俳句はどう向き合ってきたのか

戦争の時代に、俳句の世界に何があったのか？ また俳句を通して原爆がこの世界にもたらしたものとは？ 17文字という限られた文字数である俳句で原爆を記録したひとたち、今も火種を絶やさずつなぐひとたちを長年の取材を通して綴る。

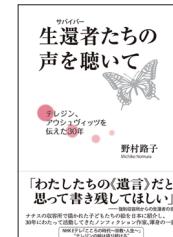
原爆と俳句
永田浩三：著 大月書店
四六判並製 320頁 2024年12月刊 ISBN:9784272502196 3,080円



今こそ考えたい。自分の町が 戦場になるということ――

沖縄戦で、町や村はどうなったのか。沖縄本島と島々24市町村の記録と証言から、住民の暮らしが壊していく過程をたどる。地域の実態を通して、沖縄戦を立体的に理解する「読む事典」。刊行時、話題となった『沖縄戦を知る事典』の続編。平和学習に最適。

続・沖縄戦を知る事典——戦場になった町や村
古賀徳子、吉川由紀、川満 彰：編 吉川弘文館
A5判並製 224頁 2024年5月刊 ISBN:9784642084512 2,640円



「わたしたちの《遺言》だと 思って書き残してほしい」

ナチスの収容所で描かれた子どもたちの絵を日本に紹介してきた著者が伝える生還者の思い。『写真を撮りなさい』と言いいながら、数字の入れ墨が残る腕を出してくれたのに、その写真の彼女には笑顔がなかった、あのときの記憶が今もずっとわたしの中にある』

サバイバー
生還者たちの声を聴いて——テレジン、アウシュヴィッツを伝えた30年
野村路子：著 第三文明社
四六判並製 272頁 2020年10月刊 ISBN:9784476033960 1,700円



哲学者は戦うことを どう考えてきたんだろう？

なぜ人類は戦争を止めることができないのでしょうか？ 人類誕生とともに始まったともいえる戦争の歴史を、ウクライナ、パレスチナ紛争に揺れる現在まで、哲学者の思想から明らかにします。哲学者のイラスト、人名解説付き。

戦争の思想史
中山元：著 平凡社
四六判並製 336頁 2025年2月刊 ISBN:9784582703702 3,300円



清流の宝石、空飛ぶ宝石と呼ばれるカワセミを東京都心の川で発見♪ コンクリート壁の水抜き穴を巣にしてたよ。カワセミは世界に100種類もいるんだって♪

